

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

			北海道水産林務部漁業管理課		
目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進				
目標	資源増養殖目標	28-1			
事業実施主体	（一社）根室管内さけ・ます増殖事業協会				
実施地区	根室北部地区（羅臼町）				
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度			
	平成28年度	令和元年度			
助成金額	45,792千円				
事業計画の内容	<p>根室北部地区におけるサケ資源は減少傾向にあり回帰率が低迷しているため、広域浜プランにおいて「サケの放流数の維持及び資源増大」を目標に掲げている。</p> <p>しかし、湯の沢ふ化場は根室北部地区のサケ稚魚生産施設として重要な役割を果たしているが、施設構造が古く飼育環境による生残率や回帰率の低下などがサケ資源増大の支障となっている。</p> <p>このため、湯の沢ふ化場を整備し、飼育環境を改善することで、生残率や回帰率の高い健康なサケ稚魚の生産が可能となり、サケ資源の増大による漁業者所得の向上や漁村の活性化にも繋がることから、地域水産業の競争力強化が図られるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育池棟：屋根及び外壁改築 ・飼育池：改良 <p>（添付資料1）事業概要 （添付資料2）平成28年度事業計画 （添付資料3）財産管理台帳</p> <p>なお、計画策定時の目標年度は令和2年度であったが、実施要領第2の8（4）に基づき施設の供用開始年度から3年度以内である令和元年度の実績値を現状値として評価を行った。</p>				
評価	取組の目標（KPI）				
		基準年	（平成25年時点）漁業所得	4,058千円	
		現状値	（令和元年度末）漁業所得	3,110千円	増加率 -23.4%
		目標値	（平成30年度末）漁業所得	4,915千円	増加率 21.1%
	成果目標		施設整備によるサケ稚魚放流数の維持、健康な種苗生産による回帰率向上（放流計画数11,240千尾の維持、漁獲数449千尾（回帰率4.0%））		
		現状値	（令和元年度末時点）稚魚放流数15,977千尾 ※施設整備後に放流した稚魚の回帰はR2以降となるため漁獲数は未評価。		
		目標値	（令和元年度）放流計画数11,240千尾、漁獲数449千尾（回帰率4.0%）		
	（1）現状値の説明		平成28年度に施設を整備した湯の沢ふ化場においては、供用開始後は継続して事業が行われ、令和元年度末時点の放流数は15,977千尾となっており、目標は達成しているが、漁獲数については本施設整備後に放流した稚魚が親魚として回帰するのが令和2年度以降であるため、漁獲数については未評価となった。		
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）		これらの種苗生産能力の維持により今後も継続して健康な稚魚を放流する体制が整っていることから、当該地区におけるサケ資源造成に大きく貢献し、回帰年における漁価所得向上も期待される。		
	（3）所見		施設整備計画のとおり施設整備を行い、供用開始後は有効に利用されていることから、放流計画数については目標を達成しているものの、漁獲数については本施設整備後に放流したサケ稚魚が回帰するのは令和2年度以降であるため、漁獲数については未評価であるため、今後、改善計画等で評価が必要と思われる。		
（4）評価機関への意見等					
今後の改善方向等に関する分析		整備した施設を今後も継続して使用し、安定的なサケ稚魚の放流を実施していくことにより、サケ資源の増大と地域水産業の競争力を強化する。			